
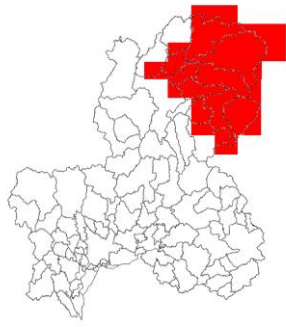


エゾミソハギ	<i>Lythrum salicaria</i> L.	準絶滅危惧
		ミソハギ科
選定理由	分布域の一部で生育条件が悪化しているため。	写真(清水英彦)
形態の特徴	茎は直立して、高さ50-150cm、殆ど無毛。葉は殆ど無柄でやや茎を抱き、対生または3輪生、長さ30-65mm、幅5-15mm、裏面脈上や葉縁に短毛を散生または密生する。花期は7-8月。穂状花序は頂生し、短毛を散生または密生する。萼は短毛を散生または密生、萼筒上部の付属体は針状で直立から斜上、紅紫色の多くの花をつける。	
生態的特徴	湿地に生育する多年草。	 
分布状況	北海道～九州に分布し、岐阜県では県北に分布する。	
減少要因	開発による湿地の消失、植生遷移による湿地の樹林化。	
保全対策	開発行為からの湿地の保全、および植生遷移の抑制。	
特記事項		
参考文献	北川政夫. 1982. ミソハギ科. 「日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類」(佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・巨利俊次・富成忠夫編)pp260-261. 平凡社, 東京. 村上司郎. 2001. ミソハギ科. 「神奈川県植物誌2001」(神奈川県植物誌調査会編)pp1030-1034. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 神奈川.	

文責: 清水英彦